

# 平成 2 1 年度病害虫発生予察指導情報

## 対象病害虫：ダイズ・ハスモンヨトウ (No. 3)

平成 2 1 年 9 月 1 6 日  
鳥取県病害虫防除所

### 情報の内容

9 月 1 4 ~ 1 5 日に行った県内巡回調査の結果、東 ~ 中部の平坦部を中心に、ハスモンヨトウに激しく食害されているほ場が点在している。今後、1 0 月初旬まで幼虫の食害が続くと予想されるので、現在、幼虫の食害が多いほ場では発生状況に注意が必要である。

### 1 発生状況

- ( 1 ) 9 月 1 5 日現在、巡回調査定点における発生ほ場率は 9 2 . 4 % ( 平年 : 8 9 . 6 % )、1 a 当たりの平均白変か所数は 4 . 6 か所 ( 平年 : 3 . 0 か所 ) で、平年に比べてやや多い。
- ( 2 ) 東 ~ 中部の平坦部において、激しく食害されているほ場が点在している。一方、中間 ~ 山間地での発生は平年並である。
- ( 3 ) 発生の主体は、若 ~ 中齢幼虫であり、新たな白変葉が再び発生している。したがって、1 0 月初旬頃まで幼虫の食害が続くと予想される。
- ( 4 ) 7 月 ~ 9 月第 2 半旬までの、フェロモントラップにおける雄成虫の総誘殺数は、鳥取市では平年に比べてやや多く、湯梨浜町では平年並である。

### 2 防除上注意すべき事項

- ( 1 ) 幼虫の食害が多いほ場では、発生状況をよく観察し、現在、幼虫の発生が多い場合は防除を行う。
- ( 2 ) 薬剤は、ロムダン粉剤 D L、ミミックジョーカー粉剤 D L、ラービンフロアブル、マトリックフロアブルなどを散布する。